



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 品川リフラ株式会社
(旧社名 品川リフラクトリーズ株式会社) 上場取引所 東 札
コード番号 5351 URL <https://www.shinagawa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 弘之
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 仮屋崎 勉 TEL 03 (6265) 1600
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	81,843	20.0	10,176	24.2	6,175	△2.5	6,908	3.7	4,343	△11.6
2025年3月期中間期	68,230	△6.2	8,191	△7.0	6,336	△9.0	6,663	△12.6	4,910	△47.5

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 5,641百万円 (△7.7%) 2025年3月期中間期 6,113百万円 (△58.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	95.22	—
2025年3月期中間期	107.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	221,563	100,967	41.7	2,024.96
2025年3月期	195,214	93,828	45.6	1,951.55

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 92,405百万円 2025年3月期 88,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	176,000	22.2	23,000	28.1	14,500	9.2	14,900	9.1	13,000	33.0	284.88

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 2026年3月期の業績見通しにつきましては、直近に公表されている業績予想から修正を行っております。詳細は、本日（2025年11月11日）公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに連結業績予想の修正及び個別業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有
 新規 1社 （社名）Reframax Engenharia Ltda.、 除外 1社 （社名）品川ファインセラミックス株式会社
- （2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	47,146,830株	2025年3月期	47,146,830株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,513,710株	2025年3月期	1,543,492株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	45,614,374株	2025年3月期中間期	45,577,694株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は2025年11月11日（火）に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、2025年11月26日（水）に機関投資家向けに決算説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策の動向、中国経済の内需停滞、中東情勢の混迷などにより、不安定な状況が継続しました。日本経済については、為替変動や物価上昇、不安定な海外情勢の影響等を踏まえた慎重な見方が続く中、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方、耐火物業界の最大の需要先である鉄鋼業界においては、国内の自動車・建設業向けや輸出向けの鉄鋼需要が低調であったこと等により、当中間連結会計期間の国内粗鋼生産量は前年同期比4.2%減少し、4,008万トンとなりました。

このような状況の中、当中間連結会計期間の当社グループのセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

<耐火物セグメント>

国内粗鋼生産量の減少に加えて、海外においてもお客様の活動水準の低位継続と競合環境の激化により耐火物販売数量が減少しましたが、2024年10月より新たに当社グループに加わったオランダのGouda Refractories Group B.V. (以下「Gouda社」という。)の業績が寄与したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は529億71百万円(前年同期比16.7%増)となりました。セグメント利益は、のれん他償却額の増加があったものの、Gouda社の業績が寄与したことに加えて、価格設定の適正化、販売構成の改善、コストダウン等を進めたことにより、45億53百万円(同26.7%増)となりました。

<断熱材セグメント>

国内外において受注案件の拡大に取り組んだものの、国内需要の低迷による断熱材販売数量の減少や、欧州及び中国市場の需要減速に伴う海外グループ会社の業績悪化等により、当中間連結会計期間の売上高は86億67百万円(同6.8%減)、セグメント利益は11億95百万円(同27.6%減)となりました。

<先端機材セグメント>

ファインセラミックス製品の拡販を推進したものの、半導体製造装置関連製品において需要の増加が未だ本格化していないことに加えてお客様の在庫調整の影響で販売数量が減少し、当中間連結会計期間の売上高は19億50百万円(同9.8%減)、セグメント損失は94百万円(前年同期はセグメント利益1億27百万円)となりました。

<エンジニアリングセグメント>

2025年5月より新たに当社グループに加わったブラジルのReframax Engenharia Ltda. (以下「Reframax社」という。)の業績が7-9月期より寄与したことにより、当中間連結会計期間の売上高は184億82百万円(前年同期比57.5%増)となりました。一方で、Reframax社の買収に伴う一過性の関連費用4億円の計上等により、セグメント利益は2億4百万円(同70.6%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は売上高818億43百万円(前年同期比20.0%増)、各段階利益につきましては、EBITDA101億76百万円(同24.2%増)、営業利益61億75百万円(同2.5%減)、経常利益69億8百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に土地売却に伴う固定資産売却益7億60百万円を計上したことに対して当中間連結会計期間には大きな固定資産売却益がないことから43億43百万円(同11.6%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、「受取手形、売掛金及び契約資産」、「のれん」及び「無形固定資産のその他」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ263億49百万円増加し、2,215億63百万円となりました。

負債は「短期借入金」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ192億9百万円増加し、1,205億96百万円となりました。

純資産は「利益剰余金」及び「非支配株主持分」の増加を主たる要因として前連結会計年度末に比べ71億39百万円増加し、1,009億67百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年8月8日の「2026年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。詳細は、本日(2025年11月11日)公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに連結業績予想の修正及び個別業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

また、配当予想については、2025年5月15日に公表いたしました年間配当予想に変更はありません。

(通期 連結業績予想)

(金額の単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	176,000	23,000	14,500	14,500	8,500
今回修正予想 (B)	176,000	23,000	14,500	14,900	13,000
増減額 (B - A)	—	—	—	400	4,500
増減率 (%)	—	—	—	2.8	52.9

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,024	18,948
受取手形、売掛金及び契約資産	39,208	45,447
電子記録債権	4,372	4,393
有価証券	3,713	4,678
商品及び製品	14,554	15,469
仕掛品	6,125	4,676
原材料及び貯蔵品	13,509	13,316
その他	2,496	3,659
貸倒引当金	△40	△54
流動資産合計	106,964	110,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,568	13,290
機械装置及び運搬具(純額)	16,722	18,461
土地	9,449	9,495
その他(純額)	6,896	7,452
有形固定資産合計	46,637	48,700
無形固定資産		
のれん	14,957	24,614
その他	13,125	22,323
無形固定資産合計	28,082	46,937
投資その他の資産		
投資有価証券	9,222	11,045
繰延税金資産	657	607
その他	3,772	3,863
貸倒引当金	△123	△124
投資その他の資産合計	13,529	15,392
固定資産合計	88,249	111,030
資産合計	195,214	221,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,671	20,199
電子記録債務	1,332	1,987
短期借入金	24,854	40,169
未払法人税等	770	2,112
賞与引当金	1,728	1,746
環境対策引当金	74	69
災害損失引当金	251	164
その他の引当金	180	149
その他	8,093	10,276
流動負債合計	57,957	76,876
固定負債		
長期借入金	32,602	30,197
退職給付に係る負債	804	872
その他の引当金	265	242
その他	9,756	12,408
固定負債合計	43,429	43,720
負債合計	101,386	120,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,300	3,300
資本剰余金	466	468
利益剰余金	80,264	82,555
自己株式	△2,432	△2,385
株主資本合計	81,597	83,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,827	4,819
繰延ヘッジ損益	42	△20
為替換算調整勘定	3,071	3,236
退職給付に係る調整累計額	458	431
その他の包括利益累計額合計	7,399	8,467
非支配株主持分	4,830	8,562
純資産合計	93,828	100,967
負債純資産合計	195,214	221,563

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	68,230	81,843
売上原価	52,062	61,630
売上総利益	16,167	20,212
販売費及び一般管理費	9,830	14,036
営業利益	6,336	6,175
営業外収益		
受取利息	151	409
受取配当金	166	191
持分法による投資利益	66	59
為替差益	—	651
保険配当金	56	54
助成金収入	4	2
その他	163	168
営業外収益合計	607	1,536
営業外費用		
支払利息	131	696
為替差損	98	—
その他	50	107
営業外費用合計	281	804
経常利益	6,663	6,908
特別利益		
固定資産売却益	760	—
国庫補助金	—	240
その他	3	—
特別利益合計	763	240
特別損失		
固定資産処分損	54	11
固定資産圧縮損	—	205
災害による損失	17	13
環境対策費	—	34
特別損失合計	72	265
税金等調整前中間純利益	7,355	6,883
法人税、住民税及び事業税	1,938	2,308
法人税等調整額	354	△73
法人税等合計	2,293	2,234
中間純利益	5,062	4,648
非支配株主に帰属する中間純利益	151	304
親会社株主に帰属する中間純利益	4,910	4,343

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
中間純利益	5,062	4,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△532	993
繰延ヘッジ損益	1	△62
為替換算調整勘定	1,568	83
退職給付に係る調整額	1	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	11	5
その他の包括利益合計	1,050	992
中間包括利益	6,113	5,641
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,780	5,411
非支配株主に係る中間包括利益	332	229

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,338	8,733	2,101	11,606	67,779	451	68,230	—	68,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	563	60	131	807	1	809	△809	—
計	45,390	9,296	2,161	11,738	68,587	453	69,040	△809	68,230
セグメント利益	3,594	1,650	127	697	6,069	269	6,338	△1	6,336

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	断熱材	先端機材	エンジニアリング	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,921	8,120	1,950	18,388	81,380	462	81,843	—	81,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	546	0	94	691	1	693	△693	—
計	52,971	8,667	1,950	18,482	82,071	464	82,536	△693	81,843
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,553	1,195	△94	204	5,859	284	6,144	31	6,175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額31百万円は、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「エンジニアリング」において、第1四半期連結会計期間に行われたReframax Engenharia Ltda.の持分を取得し連結の範囲に含めたことについて、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当中間連結会計期間に取得原価の配分を見直し、13,861百万円から9,753百万円に変動しております。なお、当該のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(固定資産の譲渡)

当社は、2025年11月11日開催の取締役会において、当社が保有する固定資産を譲渡することを決議いたしました。

1. 譲渡の理由

譲渡資産は当社相模工場を閉鎖後、賃貸土地として活用しておりましたが、有利子負債の返済による財務体質の強化と、持続的な成長に向けた投資資金の確保を目的として、譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

対象資産の名称	神奈川県座間市に保有する土地
所在地	神奈川県座間市小松原二丁目5245-1他
面積	土地 21,868㎡
現況	賃貸土地

※譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先との取り決めにより非開示とさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価格での譲渡であります。

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先との取り決めにより公表を控させていただきます。なお、譲渡先と当社グループとの間には特筆すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、関連当事者にも該当しません。

4. 譲渡日

取締役会決議日 2025年11月11日
 契約締結日 2025年12月19日(予定)
 物件引渡日 2025年12月19日(予定)

5. 損益に与える影響

当該固定資産の譲渡により、2026年3月期連結及び個別財務諸表において、固定資産売却益約4,657百万円を特別利益に計上する見込みであります。